

平成 30 年度日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会第 1 回常任世話人会議事要旨

日 時： 平成 30 年 7 月 23 日（月） 10:00～12:00

場 所： 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 6 階 1-2 会議室

出席者： 矢守隆夫（部会長） 奥田晴宏（会計） 袴塚高志（総務幹事） 赤川治郎 穂山 浩
石井明子 畝山智香子 小椋康光 小野 敦 諫田泰成 日下部哲也 国忠 聡 合田幸広
近藤一成 斎藤嘉朗 佐瀬一洋 佐藤恭子 佐藤陽治 神野透人 塚本 桂 頭金正博
成川 衛 花田賢太郎 林 憲一 本間正充 益山光一
川西 徹（オブザーバー） 豊島 聡（オブザーバー）

欠席者： 五十嵐良明 小川久美子 小野俊介 関野祐子 永井尚美 薮島由二 平川 忠 前田 玲
横田尚久

<審議事項>

1. 常任世話人の交代について

- ・常任世話人退任について

退任申請があった白神世話人と北條世話人については、退任が承認された。

- ・新常任世話人の就任について

以下の通り推薦された新常任世話人候補 9 名について、全員の就任が承認された。就任時期については、平成 30 年度第 1 回常任世話人会以降とした。

〈候補者〉

〈推薦者〉

近藤昌夫 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、合田世話人
前川京子 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、穂山世話人
伊豆津健一 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、穂山世話人
山田博章 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、合田世話人
鹿野真弓 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、合田世話人
細木るみ子 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、合田世話人
宮崎生子 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、合田世話人
新井洋由 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、合田世話人
宇津 忍 氏	： 矢守部会長、袴塚総務幹事、合田世話人

- ・オブザーバーの就任について

矢守部会長からオブザーバー指名のあった川西前部会長および豊島元部会長の就任が承認された。

2. 平成 31 年度の活動予定

- ・部会主催フォーラムについて

第 16 回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラムは斎藤世話人を、第 17 回食品安全フォーラムは近藤(一) 世話人を、第 5 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラムは神野世話人を実行委員長として開催することが決定した。第 16 回医薬品評価フォーラムについては、東海康之氏（グラク・ミズクリン(株)）が実行委員長に決定済である。

各実行委員長は、期日までに開催計画書を作成し、薬学会に提出する。

3. 平成 30 年度の活動

平成 31 年 3 月千葉で開催の日本薬学会 139 年会でのレギュラトリーサイエンス部会主催シンポジウムのオーガナイザーは、薮島世話人に決定した。薮島世話人は、期限までに一般シンポジウム受付手続きを進めることとなった。

シンポジウムに関し、以下のコメント、助言があった。

矢守部会長：薬学会という場でどれくらいの方々が医療機器というところに来てくれるか若干不安であるが、聴衆に医療機器による不具合というのがどういう状況にあって、なぜ薬剤投与に使用するプラスチックなのか、その辺りの全体像を俯瞰した上でこのテーマに絞り込んだという説明を是非イントロダクションに入れていただけると良いと思う。

合田世話人：神戸で開催の再生医療学会と日程が重なるので、日程調整をしておかないと演者の問題等で開催が難しくなると思う。ぶつからないように情報提供を早めにしておこなど、大会本部とコミュニケーションを取ることが重要である。

奥田会計幹事：来年の薬学会はいつもより早い時期に開催されるので大学の卒業式等と重なっている。そのため避けて欲しい日にちを登録できるような形にするようであるが、各々いろいろなところからの希望が複雑に絡む可能性があるため、早めに大会実行委員長に連絡するようにした方が良い。また、このことを薮島世話人に伝えてほしい。

川西前部会長：奥会頭が、去年頃、部会主催ということでシンポジウムをどんどん提案して欲しいということを仰っていた気がする。RS 部会主催と強く打ち出すのか問い合わせたほうが良い。また、RS 部会から積極的にやりたいというものがあれば複数提案してもよいかもしれない。

<報告事項>

4. 平成 29 年度の活動報告

既に報告済みのものを除く各学術集会について、各担当世話人、袴塚総務幹事から説明があった。

資料訂正→議事次第詳細版 p.1 の第 14 回医薬品評価フォーラムの開催年を平成 28 年から平成 29 年に訂正。

p.3 の第 20 回医薬品品質フォーラムシンポジウムの資料番号を資料 4-6 から資料 4-7 に訂正。続く資料 4-7 は資料 4-8 に、資料 4-8 は資料 4-9 にそれぞれ訂正。

主催学術集会

- ・第 15 回食品安全フォーラム（実行委員長：佐藤恭子世話人）

日 時： 平成 29 年 12 月 1 日 13：15～17：15

場 所： 日本薬学会長井記念ホール

テーマ： 食品の安全確保のための取り組み

共催学術集会

- ・第 15 回医療機器フォーラム（薮島世話人）

主 催： 医療機器フォーラム

日 時： 平成 29 年 9 月 29 日 13：00～17：00

- 場 所： 早稲田大学小野記念講堂
テーマ： 発展する人工知能(AI) –医療応用を中心に–
・バイオリジクスフォーラム第 15 回学術集会 (佐藤(陽)世話人)
主 催： バイオリジクスフォーラム
日 時： 平成 30 年 1 月 10 日 10:00~18:00
場 所： 文京シビックホール 小ホール
テーマ： 先端バイオ医薬品開発をブレイクスルーするためのレギュラトリーサイエンス

薬学会 138 年会 (金沢) での活動

- ・レギュラトリーサイエンス部会シンポジウム (オーガナイザー：畝山世話人)
テーマ： いわゆる「健康食品」について薬剤師が知っておくべきこと
日 時： 平成 30 年 3 月 28 日 13:10~15:10
場 所： ホテル金沢ダイヤモンド B

川西前部会長より、薬学会第 138 年会期間中に開催された 4th International Symposium for Medicinal Sciences において、Invited Poster Presentation として花田世話人が発表したことが伝えられた。また、前回の第 3 回でも川西前部会長が代表して発表しているの、本国際シンポジウムについても当該年度の活動として議事録に記載すること、さらに、第 5 回についても発表依頼があった際には協力することなどの要望があった。

花田世話人から、「実際の参加者は若い人がほとんどであった。国際会議という名目で、内容を 2 分間にまとめて英語での発表で大変ではあるが、なるべく若い方に出ていただくと良いのではないか」とのコメントがあった。

袴塚総務幹事から、協力要請があった際には、事務局で候補を考えさせていただくこととし、この場では議論はしないが国際シンポジウムについても、議事録に残すこととする旨、発言があった。

5. 平成 29 年度レギュラトリーサイエンス部会事業報告・会計報告

袴塚総務幹事が、資料に基づき報告を行った。

川西前部会長から「部会活動の概要報告」については、4つのフォーラムを主催して開催していることがわかるような書き方にすべきであった」とコメントがあった。今年度の事業報告書を作成するには、助言を反映させるよう留意する。

6. 平成 30 年度の活動

矢守部会長、豊島元部会長、各担当世話人、袴塚総務幹事から説明があった。

部会長会議

- ・平成 30 年度第 1 回部会長会議 (矢守部会長)

日 時： 平成 30 年 5 月 8 日 12:00~14:30

場 所： 日本薬学会 2 階 AB 会議室

主催学術集会

- ・第 15 回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (実行委員長：石井世話人)

日 時： 平成 30 年 12 月 14 日 10:00~17:00

場 所： 日本薬学会長井記念ホール

テーマ： バイオシミラーへの期待と課題

- ・第 16 回食品安全フォーラム (実行委員長：小椋世話人)

日 時： 平成 30 年 12 月 7 日 (金) 13 : 30～17 : 20

場 所： 日本薬学会長井記念ホール

テーマ： 食品の安全確保に向けたミネラル・元素に関する最近の動向

- ・第 15 回医薬品評価フォーラム (実行委員長：谷口泰正氏)

代表世話人の豊島元部会長から報告

日 時： 平成 30 年 4 月 20 日 (金) 13 : 00～17 : 50

場 所： 日本薬学会長井記念ホール

テーマ： 医薬品の連続生産

- ・第 4 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム

(実行委員長：諫田世話人)

日 時： 平成 30 年 9 月 15 日 (土) 11 : 00～17 : 00

場 所： 帝京平成大学薬学部

テーマ： 若手研究者が担うレギュラトリーサイエンスの将来

諫田世話人より、「過去の若手フォーラムの演題やどうということが発表されているかを知りたい」という要望がアカデミアの先生からあったことが報告された。その対応として、これまで実行委員長を担当した世話人に演題と演者の一覧表提供していただき、RS 部会の HP に掲載することとした。

また、頭金世話人から、「名古屋市大の HP に一覧が掲載されている。抄録集も残りがある、HP 上にもプログラムは残っている。それをご利用いただければと思う」とのコメントがあった。

川西前部会長から、「昨年の特講演は盛況であったが過去の反省点として、特講演の会場も演者も内容もよかったのに人が少なかった回があったので、同日開催の日本薬学会関東支部大会参加者に特講演に来てもらえるよう、関東支部に情報を流して欲しい」との要望があった。この件については、諫田世話人から、「関東支部大会の実行委員長の石坂先生にリンクを貼らせていただいて、関東支部の参加者にも来ていただけるようにしている」との報告があった。

また、川西前部会長から、「優秀発表賞の対象を薬学会の会員にしたいところであるが、非会員の発表者が多い状況なので、会員か否かに固執しないでやっていくのがいいと思う」とコメントがあった。

共催学術集会

- ・第 16 回医療機器フォーラム (範島世話人)

袴塚総務幹事から代理報告

日 時： 平成 30 年 11 月 19 日 (月) 13 : 00～17 : 00

場 所： 早稲田大学 小野記念講堂

テーマ： 放射線治療の最前線

主 催： 医療機器フォーラム

- ・バイオリジクスフォーラム第 16 回学術集会 (佐藤(陽)世話人)

日 程： 平成 30 年 12 月～平成 31 年 2 月頃で調整中

場 所： 文京シビックホール 小ホール

テーマ： 8月の世話人会で決定する予定

主催： バイオロジクスフォーラム

- ・第20回医薬品品質フォーラム シンポジウム (奥田世話人)

日時： 平成30年9月11日(火) 10:00~17:00

場所： 全電通労働会館 多目的ホール

テーマ： ICHQ12の国内実現に向けて

主催： 医薬品品質フォーラム

- ・薬用植物フォーラム2018 (川原信夫氏)

袴塚総務幹事から報告

日時： 平成30年7月10日(火) 10:00~17:00

場所： つくば国際会議場 1階 大ホール

主催： 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター

ホームページの更新 (広報責任者：五十嵐世話人)

袴塚総務幹事から報告

若手フォーラムの演題と演者の情報をアップすることとなった。

また、英語版 **Information About us Activities** を更新する、との説明があった

7. その他

○袴塚総務幹事から、今年度新たに世話人に就任した小野敦世話人、日下部哲也世話人、神野透人世話人の紹介があり、各世話人から自己紹介があった。

○平成30年度第2回常任世話人会の開催日時については、平成30年12月14日(金) 17:30~1時間程度(医薬品RSフォーラム開催後)、長井記念館会議室で開催することとなった。

○RS部会の旅費規定について

薬学会の旅費規程をたたき台にして、部会の旅費規程を整えたい、との要望があった。

世話人からは、以下の意見が述べられた。

- ・薬学会の役員は、例えば年会の時に併せて理事会が開かれる。「年会に出るときは旅費が出るのでしょ」ということで、その時は旅費を支払わない。部会に一律に適用するのは変だ。
- ・これから地方で開催することもあると思うので、いずれにしても決めておいた方がいい。
- ・実際に払う方の場合を考えると10円玉で払うのも大変。振込にすると近距離の場合手数料が高くなる矛盾が生じる。可能であれば部会のところで、近距離の部分は薬学会と変えられるなら変えた方が楽。
- ・全国的な展開・活動を考えると部会の収入が限られているので、実際の運用はかなり柔軟にした方がよい。常任世話人が結構多いので、常任世話人会を関西でやることになったら大変なことになる。余り生真面目にルールを作らない方がよいのではないか。
- ・部会に裁量が任されているのであれば現実に対応した形をとるのが一番いいと思う。皆さんの合意に基づいて進めていく。
- ・原案を見ると都内だから出さないとうふうにも読めない。とは言っても、非常に少額のものを出すのは、事務側の労力の問題がある。国研は都内だと旅費は出ない、そういう体で皆さんご了解いただけるのであれば、都内は自分たちでどうにか工面するというやり方もあるかもしれない。国研では、業務の一環としてここに来るということにしてしまえば、

旅費を支弁できる方策はある。

- ・これまで常任世話人会は、衛研もしくは長井記念館で開催されたので、衛研の世話人は旅費がかからなかった。しかし、川崎に移転したため、これからはそういう訳に行かないということも考慮に入れたい。世話人会は善意の集団なので、出来るだけフレキシブルに自分でお金が取れるような方、あるいは所属機関から業務として来るといった形で知恵を働かせて、あまり拘り定規にならないやり方で進めていければと思う。

現在、薬学会では支払うケースをどのように支払うかのところで議論しているので、薬学会の理事でもある奥田世話人から情報をいただきながら、途中で事態がはっきりしてきた段階で案をメールで回して、次回の世話人会で審議・決定という流れでいくこととした。